

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課・福祉係			
大事業 C D	03	(目標)		—				中事業 C D	14	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	デマンドタクシー運行事業				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	02	老人福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)													
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	3, 027	他の人と乗り合いにより地域の停留所（自宅を含む）から目的地近くの停留所までを、タクシー車両が送迎を行う。					3, 050	2, 792					
1 報酬		申請から1週間程度で受給者証をお渡りする。											
2 ～4給料手当等		現金だけでなく、「福祉タクシー利用乗車券」でも利用することができる。											
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費							20	47					
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費								47					
5 光熱水費													
6 修繕料							20						
その他													
11 役務費													
12 委託料	3, 027						3, 030	2, 698					
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費								47					
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	3, 027	基準額・補助率・歳入科目コード等	3, 050	
1 国庫支出金				
2 県支出金	80		106	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	2, 947		2, 944	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）				
【★ 7 次 総 5104】（道路・公共交通）「効率的な公共交通の実施」				
デマンドタクシーは、「自動車を運転しない高齢者等の交通弱者に対して日常生活の維持に向けて、買物、通院、公共施設等への立ち寄りを支援することを目的として、平成30年3月から運行を開始している。				
事業の概要				
交通弱者の移動手段を確保するため、地域の停留所（自宅前を含む）から目的地近くの停留所までをタクシー車両を使用して送迎を行う事業。（1回利用料300円）				
事業の実績				
令和3年度実績	利用台数	419台	利用人数	473人
令和2年度実績	利用台数	599台	利用人数	904人
令和元年度実績	利用台数	389台	利用人数	562人
平成30年度実績	利用台数	24台	利用人数	25人
事業の成果指標		事業の目標値		
		単位		
		R05 年度末		
		R06 年度末		
		R07 年度末		
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）				
事業開始から約4年が経過しています。「ほぎもんバス」も含め停留所や運行方法を検討して、更なる事業PR、アンケート調査を行いアンケート結果を活かして地域公共交通の充実を図っていきたい。				

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	3, 027	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	3, 027	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課・福祉係		
大事業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	08	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	シルバー人材センター運営事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	02	老人福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	1,800	シルバー人材センターの運営（人件費）への支援を行う。 取組地区にシルバー人材センターを令和3年度に新築移転し、 新たな施設で高齢者の生きがい、働きの拠点を充実させる。	1,200	34,695
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				1,056
13 使賃料				
14 工事請負費				32,439
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,800		1,200	1,200
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,800	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,200	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,800		1,200	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 2309】（高齢者福祉）「高齢者の生きがいつくり」 高齢者の生きがいつくりを推進し、自立支援を促す。			
事業の概要 シルバー人材センター運営への支援を行う。			
事業の実績 令和3年度 会員数72名 令和2年度 会員数77名 令和元年度 会員数83名 平成30年度 会員数81名 平成29年度 会員数77名 平成28年度 会員数73名 平成27年度 会員数76名 平成26年度 会員数77名			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等） 会員数増を目指す。			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	1,800	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	1,800	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	04010000	福祉課・福祉係		
大事業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	09	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	01	緊急通報システム事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	02	老人福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)									
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額	
○ 経 費 計	969	一人暮らしの高齢者や重度身体障がい者等が自宅で急病や災害等の緊急の時に、迅速に対応出来るように、連絡用として緊急通報装置の貸与をしている。					713	665	
1 報酬									
2 ～4給料手当等									
5 災害補償費									
7 報償費		利用者条件							
8 旅費		本町に住民基本台帳に登録されている方のうち、市町村民税非課税世帯で、次の各号のいずれかに該当する方							
9 交際費		(1) 満 6 5 歳以上でひとり暮らしの方							
10 需用費		(2) 重度身体障害者(1 級から 2 級までの身体障害者手帳の交付を受けている者に限る。)でひとり暮らしの方							
1 消耗品費		(3) 満 6 5 歳以上及び重度身体障害者が構成されている世帯で、ねたきり等身体虚弱者等により緊急時に要援護が必要と認める方							
2 燃料費		(4) 満 6 5 歳未満の世帯で、ねたきり等身体虚弱者等により緊急時に要援護が必要と認める方							
3 食糧費									
4 印刷製本費									
5 光熱水費									
6 修繕料									
その他									
11 役務費									
12 委託料	969	緊急通報装置には、固定電話に接続する機種と、携帯型（モバイル型）の機種を選択をすることが出来る。また、安否センサー装置もオプションで追加することが出来ます。					713	665	
13 使賃料									
14 工事請負費									
15 原材料費									
16 公財購									
17 備品購入費									
18 負補交									
19 扶助費									
20 貸付金									
21 補てん賠									
22 償利割									
23 投資出資金									
24 積立金									
25 寄附金									
26 公課費									
27 繰出金									

○ 財 源 計	969	基準額・補助率・歳入科目コード等	713	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財		地域福祉促進基金		
5 一般財源	969		713	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 2310】（高齢者福祉）「高齢者福祉サービスの充実」			
在宅サービスの充実を図り、高齢者が安心して暮らせるように緊急通報装置の設置・給付を行う。			
事業の概要			
一人暮らし及び高齢者のみ世帯に対して緊急通報装置の設置を行う。			
事業の実績			
令和3年度実績	緊急通報システム設置数	14人	(設置5台 撤去2台)
令和2年度実績	緊急通報システム設置数	11人	(設置0台 撤去1台)
令和元年度実績	緊急通報システム設置数	12人	(設置2台 撤去6台)
平成30年度実績	緊急通報システム設置数	16人	(設置0台 撤去3台)
平成29年度実績	緊急通報システム設置数	19人	(設置2台 撤去4台)
平成28年度実績	緊急通報システム設置数	21人	(設置1台 撤去2台)
平成27年度実績	緊急通報システム設置数	22人	(設置3台 撤去3台)
平成26年度実績	緊急通報システム設置数	22人	(設置3台 撤去2台)
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05年度の到達目標(課題・改善策等)			
包括や居宅介護支援事業等と連携を図り、必要な方に対して迅速に機器を貸与するように努める。			

事務事業評価の結果(1 次)	—	R05 年度の計画額	969	千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R05 年度の上限額	969	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	04010000	福祉課・福祉係		
大事業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	13	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	01	障害者相談支援事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	1,780	障がい者及び障がい児（以下「障がい者等」という。）が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他障がい者等の権利擁護のために必要な援助（相談支援事業）を実施する。 具体的には、中濃圏域13市町村で5事業所（ひびき、かざぐるま、すいせい、ひまわり、美谷の里）に共同委託し、ひびき、かざぐるま及びすいせいの3事業所には一般相談支援事業と基幹相談支援センター支援事業、地域活動支援センター事業（基幹的事業）の3つの機能を委託している。 各町村の委託料により運営しているため、利用者負担額は無料としている。	1,540	1,980
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費	45		45	
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	1,735		1,495	1,980
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,780	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,540	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,780		1,540	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 2401】（障がい者福祉）「障がい者相談支援体制の整備」	
精神、知的、身体障がいに関する相談を希望する人に対して、福祉ニーズに適合した相談先を確保する。	
事業の概要	
精神、知的、身体障がい福祉に関するさまざまな問題について、広域的、多角的に支援していくための相談支援体制を整備する。	
事業の実績	
委託先 7事業所	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	1,780	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	1,780	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課・福祉係		
大事業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	14	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	障害者自立支援事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)												
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額				
○ 経 費 計	162,808	社会生活の支援と介助の負担軽減を図るため、自立支援給付、自立支援医療（更生医療・育成医療）、補装具等を給付する。					152,948	140,573				
1 報酬												
2 ～4給料手当等												
5 災害補償費		○自立支援給付										
7 報償費	26	・介護給付（居宅介護、短期入所、生活介護、施設入所支援等）					26	26				
8 旅費		・訓練等給付（自立訓練、就労継続支援、共同生活援助等）										
9 交際費												
10 需用費		○自立支援医療（更生医療、育成医療、精神通院医療）										
1 消耗品費												
2 燃料費												
3 食糧費		○補装具（義足、装具、車椅子、電動車椅子、補聴器等）										
4 印刷製本費												
5 光熱水費		○障害児通所支援給付（放課後等デイサービス、児童発達支援等）										
6 修繕料												
その他												
11 役務費	315						288	263				
12 委託料	3,333						825					
13 使賃料												
14 工事請負費												
15 原材料費												
16 公財購												
17 備品購入費												
18 負補交	362						277	229				
19 扶助費	158,772						151,532	140,055				
20 貸付金												
21 補てん賠												
22 償利割												
23 投資出資金												
24 積立金												
25 寄附金												
26 公課費												
27 繰出金												

○ 財 源 計	162,808	基準額・補助率・歳入科目コード等					152,948	
1 国庫支出金	79,385						75,766	
2 県支出金	39,692						37,883	
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	43,731						39,299	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★ 7 次総 2402】（障がい者福祉）「障がい福祉サービスの充実」		
障がい者及び障がい児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付を行い、障害の有無にかかわらず安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする		
事業の概要	社会生活の支援と、介助の負担軽減を図るため、自立支援給付、自立支援医療（更生医療・育成医療）、補装具等の提供費用を給付する。	
事業の実績		
自立支援給付 延べ利用人数 9 1 人（令和 4 年度 1 0 月時点） 延べ利用人数 8 5 人（令和 3 年度 1 0 月時点） 延べ利用人数 7 4 人（令和 2 年度 1 0 月時点） 延べ利用人数 8 2 人（令和元年度 1 1 月時点） 延べ利用人数 7 8 人（平成30年度 1 1 月時点）		
事業の成果指標	事業の目標値	
	単位	
	R05 年度末	
	R06 年度末	
	R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）		
障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、必要な障害福祉サービス、相談支援の提供体制の確保に努める。		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	162,808	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	162,808	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課・福祉係		
大事業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	14	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	06	重度心身障害者自動車用燃料助成事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	4, 313	坂祝町に1年以上住所を有し、下記に該当する方に対し、1枚600円の燃料助成券を1か月3枚（人工透析は8枚）を4か月分まとめて支給する。 【対象者】 ・身体障害者手帳1級・2級および人工透析者（ただし、下肢及び体幹機能障害者は3級まで） ・療育手帳A ・精神手帳1級・2級 ・日常生活自立度（寝たきり度）A1からC2	4, 047	3, 823
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	179		130	129
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費	179			
5 光熱水費			130	129
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費	4, 134		3, 917	3, 694
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	4, 313	基準額・補助率・歳入科目コード等	4, 047	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	4, 313		4, 047	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★ 7 次 総 2402】（障がい者福祉）「障がい福祉サービスの充実」		
障がい者の日常生活または社会生活の支援と、介助者の負担軽減を図るため、障がい福祉サービス、日中活動を支援するサービスを提供する。		
事業の概要		
高齢者・障害者に600円分の燃料助成券を月3枚(透析治療者に対しては8枚)交付し、これらの者の社会への参加の機会を作り、社会生活の安定に寄与し、福祉の増進を図る。		
事業の実績		
平成26年度実績	資格者数	127名
平成27年度実績	資格者数	132名
平成28年度実績	資格者数	139名
平成29年度実績	資格者数	133名
平成30年度実績	資格者数	142名
令和元年度実績	資格者数	147名
令和 2年度実績	資格者数	169名
令和 3年度実績	資格者数	167名
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R05 年度末
		R06 年度末
		R07 年度末
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)		
対象者及び介護者が燃料助成券利用することにより、社会参加の支援や介護者の負担軽減を図る。また、自立度による対象者は担当ケアマネージャーや介護係と連携しながら、サービスの周知を図る。		

事務事業評価の結果(1 次)	—	R05 年度の計画額	4, 313	千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R05 年度の上限額	4, 313	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課 福祉係		
大 事 業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	14	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小 事 業 C D	07	障がい児者助成事業				事業年度	R05 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	590	・自動車運転免許取得・改造助成事業…身体障害者及び知的障害者の自動車運転免許の取得及び自動車の改造（自らが所有し、運転する自動車の操向装置等の改造）に要する費用の一部を助成する。	0	0
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費		・重度身体障害者介助用自動車購入等助成事業…車いす等を使用する在宅の重度身体障害者を介助する者が運転する自動車をリフト付きの自動車等に改造する経費又は既に改造された自動車を購入する経費の一部を助成する。		
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費		・身体障害者ニュー福祉機器助成事業…在宅の身体障害者が、その自立に資する目的で先進的な福祉機器を購入する場合に購入費用を一部助成する。		
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他		・要電源重度障がい児者非常用電源装置購入…要電源重度障害児者が、災害による停電時等においても日常生活を継続するための非常用電源装置等の購入費の全部又は一部を助成する。		
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費	590			
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	590	基準額・補助率・歳入科目コード等	0	
1 国庫支出金				
2 県支出金	245			
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	345			

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 2404】（障がい者福祉）「障がい者の地域生活への移行支援」 自動車運転免許取得・改造助成事業、重度身体障害者介助用自動車購入等助成事業、身体障害者ニュー福祉機器助成事業、要電源重度障がい児者非常用電源装置購入	
障がい児者が住み慣れた地域社会の中で自立し、社会に参加できるよう援助することを目的とする。	
事業の概要	
障がい児者が住み慣れた地域社会の中で自立し、社会に参加できるように各種費用の一部を助成する。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	590	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	590	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書					事業主体	04010000	福祉課・福祉係						
大事業 C D	22	(目標)	—					中事業 C D	15	(施策)	—					
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—					
小事業 C D	01	身障協会補助事業					事業年度	R03 ~ R12								
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分	新規・継続	成果目標	☐ 成果目標がある ☒ 成果目標がない	成果指標	—	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)															
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額							
○ 経 費 計	80	岐阜県身体障害者福祉協会坂祝分会に対する補助金					80	80							
1 報酬															
2 〜4給料手当等															
5 災害補償費															
7 報償費															
8 旅費															
9 交際費															
10 需用費															
1 消耗品費															
2 燃料費															
3 食糧費															
4 印刷製本費															
5 光熱水費															
6 修繕料															
その他															
11 役務費															
12 委託料															
13 使賃料															
14 工事請負費															
15 原材料費															
16 公財購															
17 備品購入費															
18 負補交	80						80	80							
19 扶助費															
20 貸付金															
21 補てん賠															
22 償利割															
23 投資出資金															
24 積立金															
25 寄附金															
26 公課費															
27 繰出金															

○ 財 源 計	80	基準額・補助率・歳入科目コード等					80	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	80						80	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 2403】（障がい者福祉）「団体活動の活性化」			
障がい者のいきがいづくりや社会参加の活動を促進するため補助金を交付する。			
事業の概要			
坂祝分会への補助費を交付する。			
事業の実績			
予算額での交付を行っている。			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
協会の活動内容を随時確認し、団体の活性化を求める。			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	80	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	80	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課 福祉係		
大 事 業 C D	22	(目標)	—					中 事 業 C D	16	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小 事 業 C D	09	地域生活支援事業					事業年度	R05 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款 項 目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	3, 492	・移動支援事業…屋外での移動が困難な障害児・者について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図る。	0	0
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		・日中一時支援事業…障害児・者を一時的に預かることにより、障害者等に日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な負担軽減を図る。		
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費		・手話通訳者等派遣事業…手話をコミュニケーション手段とする聴覚障がい者等が手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより聴覚障がい者等の自立と社会参加の促進及びコミュニケーションの円滑化を図る。		
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費		・手話奉仕員養成事業…聴覚障害者等との交流活動の促進、実施主体の広報活動などの支援者として期待される日常会話程度の手話表現技術を取得した手話奉仕員を養成研修する。		
12 委託料	120			
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費		・障害児・者日常生活用具給付事業…自立した活動を支援する用具・機器などを提供する。		
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	45	・宿泊型生活訓練事業…宿泊を伴う日常生活上必要な訓練、指導等本人活動支援を行うことにより、生活の質的向上を図る。		
19 扶助費	3, 327			
20 貸付金				
21 補てん賠		・訪問入浴サービス事業…自力又は家族のみでは入浴が困難な者に対し、移動入浴車を派遣し入浴を実施する。		
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	3, 492	基準額・補助率・歳入科目コード等	0	
1 国庫支出金	1, 745			
2 県支出金	872			
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	875			

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 2402】（障がい者福祉）「障がい福祉サービスの充実」 移動支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴サービス事業 【★ 7 次総 2404】（障がい者福祉）「障がい者の地域生活への移行支援」 障害児・者日常生活用具給付事業、宿泊型生活訓練事業 【★ 7 次総 2405】（障がい者福祉）「障がいへの理解向上」 手話通訳者等派遣事業、手話奉仕員養成事業 福祉の増進を図るとともに、障害の有無に関わらず住民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。	
事業の概要	
障がい児者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を計画的に実施する。	
事業の実績	
・移動支援事業…令和2年度利用者2名、令和3年度利用者1名、令和4年度利用者0名※10月時点 ・日中一時支援事業…令和2年度利用者3名、令和3年度利用者3名、令和4年度利用者1名※10月時点 ・手話通訳者等派遣事業…令和2年度利用者2名、令和3年度利用者2名、令和4年度利用者1名※10月時点 ・手話奉仕員養成事業…平成28・29年度講座修了者4名、平成30・31年度講座修了者1名、令和2・3・4年度講座修了者1名 ・障害児・者日常生活用具給付事業…令和元年度給付件数44件、令和2年度給付件数54件、令和3年度給付件数54件 ・宿泊型生活訓練事業…令和2年度利用者0名、令和3年度利用者0名、令和4年度利用者0名※10月時点 ・訪問入浴サービス事業…令和2年度利用者0名、令和3年度利用者0名、令和4年度利用者0名※10月時点	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
利用者の生活状況等を把握し、福祉ニーズに適合した支給決定及び安定した提供体制の確保に努める。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	3, 492	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	3, 492	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	04010000	福祉課・福祉係				
大事業 CD	22	(目標)	-						中事業 CD	21	(施策)	-			
		(政策)									(主要な取り組み)				
小事業 CD	01	地域福祉推進事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	支え合い団体数		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	01	社会福祉総務費	小事業区分	新規・継続			☐ 成果目標がない	目標値	11	目標年度	令和12年度

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	19,111	町社協のコミュニティソーシャルワーカーによる生活困窮者等への就労支援や相談事業を支援していく。	20,161	18,647
1 報酬		町社協のチャレンジ就労事業では、就業につながるように支援していく。		
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		生活困窮者に対して、町社協の食糧支援を支援していく。		
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	10,818		10,659	8,809
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	8,293		9,502	9,838
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	19,111	基準額・補助率・歳入科目コード等	20,161	
1 国庫支出金			130	
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	19,111		20,031	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 2501】（地域福祉・社会保障）「地域福祉リーダーの育成」 【★7次総 2502】（地域福祉・社会保障）「生活困窮者への支援」 社協のコーディネートのもと地域の支え合い団体の育成や支え合いの場づくりを行い、地域福祉推進の担い手となる人材を確保する。	
事業の概要	
福祉コミュニティ構築推進事業により、地域の支え合い団体の育成や支え合いの場づくりを行い、地域福祉推進の担い手となる人材の確保に努める。	
事業の実績	
令和4年度 支え合い団体12地区※10月末時点 令和3年度 支え合い団体11地区 令和2年度 支え合い団体11地区 令和元年度 支え合い団体11地区 平成30年度 支え合い団体11地区	
事業の成果指標	事業の目標値
地域の支え合い団体数	単位 団体
	R05 年度末 11
	R06 年度末 11
	R07 年度末 11
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
社協のコーディネートにより、各支部独自の支援活動を推進、継続する。 （現在の活動を継続しつつ、制度外サービスや災害時の要援護者支援等にも目を向けた活動を社協の関わりにより活性化していく。）	

事務事業評価の結果（1次）	—	R05 年度の計画額	19,111	千円
事務事業評価の結果（2次）	—	R05 年度の上限額	19,111	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	04010000	福祉課・福祉係			
大事業 C D	22	(目標)		—				中事業 C D	22	(施策)		—				
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—				
小事業 C D	02	福祉会館運営事業					事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	05	総合福祉会館運営費	小事業区分	新規・継続			☒ 成果目標がない	目標値		—	目標年度	—

(単位：千円)												
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額				
○ 経 費 計	24, 510	総合福祉会館サンライフさかほぎの会館の運営を行う。					35, 595	32, 478				
1 報酬	8						8					
2 ～4給料手当等												
5 災害補償費												
7 報償費												
8 旅費	2											
9 交際費												
10 需用費	500						4, 405					
1 消耗品費												
2 燃料費												
3 食糧費												
4 印刷製本費												
5 光熱水費												
6 修繕料	500						4, 405					
その他												
11 役務費												
12 委託料	24, 000						31, 182	31, 182				
13 使賃料												
14 工事請負費												
15 原材料費												
16 公財購												
17 備品購入費								1, 296				
18 負補交												
19 扶助費												
20 貸付金												
21 補てん賠												
22 償利割												
23 投資出資金												
24 積立金												
25 寄附金												
26 公課費												
27 繰出金												

○ 財 源 計	24, 510	基準額・補助率・歳入科目コード等	35, 595	
1 国庫支出金			3, 700	
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	24, 510		31, 895	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）						
【★ 7 次総 2503】（地域福祉・社会保障）「地域福祉拠点の充実」						
総合福祉会館サンライフさかほぎを拠点として、住み慣れた地域で誰もが安心していきいきと暮らすことができるように、地域力の醸成・向上を図り、地域住民が主役となって地域づくりを進める体制を確立する。 また、各種地域活動団体の会員数の増加や地域のリーダーづくりに向け、支援を行う。						
事業の概要						
福祉に関する交流、情報発信、活動の拠点としての機能を充実させるため「総合福祉会館サンライフさかほぎ」の指定管理者と定期的（年 4 回）に連携会議を開催し、地域福祉の推進に向けた事業を展開する。						
事業の実績						
令和 3 年度実績	会館総利用者数	20, 166人	開館日	278日	1日あたり	72. 5人
令和 2 年度実績	会館総利用者数	3, 101人	開館日	173日	1日あたり	17. 9人
令和元年度実績	会館総利用者数	56, 435人	開館日	294日	1日あたり	192. 0人
平成30年度実績	会館総利用者数	63, 419人	開館日	333日	1日あたり	190. 4人
事業の成果指標						
				事業の目標値		
				単位		
				R05 年度末		
				R06 年度末		
				R07 年度末		
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）						
H8年開館から、約25年が経過しており、今後、修繕費等が増えてくると予測される。開館を維持するために、長寿命化計画をたて、計画的な維持管理に努めていきたい。						

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	24, 510	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	24, 510	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	04010000	福祉課・福祉係				
大 事 業 C D	22	(目標)	-						中 事 業 C D	23	(施策)	-			
		(政策)									(主要な取り組み)				
小 事 業 C D	01	地域福祉計画・活動計画推進事業					事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	地域福祉計画などの評価・策定委員会の開催数		
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	01	社会福祉総務費	小事業区分	新規・継続			☐ 成果目標がない	目標値	5	目標年度	令和12年度

(単位：千円)													
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	40	令和2年度から令和6年度の「第3期坂祝町地域福祉計画 第3期					40	0					
1 報酬	40	坂祝町地域福祉活動計画」を、「誰もが助け合って暮らせるま					40						
2 ～4給料手当等		ち さかほぎ」の基本理念を目指して、関係機関と連携して取											
5 災害補償費		り組んでいく。											
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	40	基準額・補助率・歳入科目コード等					40	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	40						40	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 2504】（地域福祉・社会保障）「「地域福祉計画」の推進と社会福祉協議会との連携」 【★7次総 6101】（地域間交流・多文化共生）「ボランティア活動の活性化」			
社会福祉協議会との連携を強化し、地域福祉計画・活動計画に基づいて、福祉の意識づくりや、地域づくり活動、ボランティアへの支援を行う。			
事業の概要			
「坂祝町地域福祉計画」と「坂祝町地域福祉活動計画」の一体的な進捗状況の確認・評価を行い地域福祉の推進を図るため、「評価委員会」を設け、住民が積極的に参加できる体制を確立する。			
事業の実績			
評価委員会 適宜開催			
事業の成果指標		事業の目標値	
「坂祝町地域福祉計画」と社会福祉協議会の「坂祝町地域福祉活動計画」の一体的な進捗状況の確認・評価を行う「評価・策定委員会」の開催数		単位	回/年度
		R05 年度末	3
		R06 年度末	3
		R07 年度末	3
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)			
地域福祉計画と地域福祉活動計画を一本化した計画を社協とともに連携し研究していく。			

事務事業評価の結果(1次)	—	R05 年度の計画額	40	千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R05 年度の上限額	40	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分		01		一般会計				令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書										事業主体		04010000		福祉課・福祉係			
大事業 C D		41		(目標)		－				中事業 C D		12		(施策)		－									
				(政策)		－								(主要な取り組み)		－									
小事業 C D		01		敬老会執行事業				事業年度		R03 ～ R12		成果目標		☐ 成果目標がある ☒ 成果目標がない		成果指標		－							
款項目		03		民生費		01		社会福祉費		02						老人福祉費		小事業区分		新規・継続		目標値		－	

		(単位：千円)			
	R O 5年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04年度) 当初予算額	03年度 決算額	
○ 経 費 計	3, 204	各地区の自治会長が中心となって、各地域の特徴を生かした敬老会を開催できるように、支援や補助をする。	3, 261	2, 447	
1 報酬					
2 ～4給料手当等					
5 災害補償費					
7 報償費					
8 旅費					
9 交際費					
10 需用費					
1 消耗品費					
2 燃料費					
3 食糧費					
4 印刷製本費					
5 光熱水費					
6 修繕料					
その他					
11 役務費					
12 委託料					
13 使賃料					
14 工事請負費					
15 原材料費					
16 公財購					
17 備品購入費					
18 負補交	3, 204			3, 261	2, 447
19 扶助費					
20 貸付金					
21 補てん賠					
22 償利割					
23 投資出資金					
24 積立金					
25 寄附金					
26 公課費					
27 繰出金					

○ 財源 計	3,204	基準額・補助率・歳入科目コード等	3,261	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	3,204		3,261	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか） 【★7次総 6302】（コミュニティ）「地域活動・地域行事の開催支援」 敬老会を通じて、地域の方との連携を強くする。																																			
事業の概要 地域開催の特性を生かし、対象者へのきめ細かい呼びかけや、特徴ある・楽しい内容の敬老会の開催を支援、補助する。																																			
事業の実績 <table border="0"> <tr> <td>敬老会補助金対象者数・参加者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年度 自治会分</td> <td>（補助金対象者1,033人）</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者153人）</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 自治会分</td> <td>（補助金対象者1,066人）</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者157人）</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 自治会分</td> <td>（補助金対象者1,002人）</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者155人）</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 自治会分</td> <td>補助金対象者975人 参加者339人</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者158人 参加者158人）</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 自治会分</td> <td>補助金対象者950人 参加者326人</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者155人 参加者155人）</td> </tr> <tr> <td>平成29年度 自治会分</td> <td>補助金対象者909人 参加者308人</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者147人 参加者147人）</td> </tr> <tr> <td>平成28年度 自治会分</td> <td>（補助金対象者863人 参加者387人）</td> <td>施設分</td> <td>（補助金対象者163人 参加者163人）</td> </tr> </table>				敬老会補助金対象者数・参加者数				令和4年度 自治会分	（補助金対象者1,033人）	施設分	（補助金対象者153人）	令和3年度 自治会分	（補助金対象者1,066人）	施設分	（補助金対象者157人）	令和2年度 自治会分	（補助金対象者1,002人）	施設分	（補助金対象者155人）	令和元年度 自治会分	補助金対象者975人 参加者339人	施設分	（補助金対象者158人 参加者158人）	平成30年度 自治会分	補助金対象者950人 参加者326人	施設分	（補助金対象者155人 参加者155人）	平成29年度 自治会分	補助金対象者909人 参加者308人	施設分	（補助金対象者147人 参加者147人）	平成28年度 自治会分	（補助金対象者863人 参加者387人）	施設分	（補助金対象者163人 参加者163人）
敬老会補助金対象者数・参加者数																																			
令和4年度 自治会分	（補助金対象者1,033人）	施設分	（補助金対象者153人）																																
令和3年度 自治会分	（補助金対象者1,066人）	施設分	（補助金対象者157人）																																
令和2年度 自治会分	（補助金対象者1,002人）	施設分	（補助金対象者155人）																																
令和元年度 自治会分	補助金対象者975人 参加者339人	施設分	（補助金対象者158人 参加者158人）																																
平成30年度 自治会分	補助金対象者950人 参加者326人	施設分	（補助金対象者155人 参加者155人）																																
平成29年度 自治会分	補助金対象者909人 参加者308人	施設分	（補助金対象者147人 参加者147人）																																
平成28年度 自治会分	（補助金対象者863人 参加者387人）	施設分	（補助金対象者163人 参加者163人）																																
事業の成果指標		事業の目標値																																	
		単位																																	
		R05 年度末																																	
		R06 年度末																																	
		R07 年度末																																	
R05年度の到達目標（課題・改善策等） 参加者数を増やすように検討する。																																			

事務事業評価の結果(1次)	—	R05年度の計画額	3,204	千円
事務事業評価の結果(2次)	—	R05年度の上限額	3,204	千円
＜特記事項＞				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	04010000	福祉課 福祉係		
大事業 C D	51	(目標)	—					中事業 C D	45	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	20	障害者デイスサービス事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	03	民生費	01	社会福祉費	03	障害者福祉費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)													
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	2, 398	社会参加を希望する在宅の障がい者等に対し、交流の場を提供し、創作活動、機能訓練、社会適応訓練等のサービスを行う。					6, 590	8, 773					
1 報酬													
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費	2, 398						6, 590	8, 773					
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	2, 398	基準額・補助率・歳入科目コード等					6, 590	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	2, 398						6, 590	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）

【★ 7 次総 2404】（障がい者福祉）「障がい者の地域生活への移行支援」

地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を行うことにより、障がい者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とする。

事業の概要

社会参加を希望する在宅の障がい者等に対し、交流の場を提供し、創作活動、機能訓練、社会適応訓練等のサービスを行う。

事業の実績

利用者 3 名（令和 4 年度） 1 0 月時点
利用者 7 名（令和 3 年度）
利用者 6 名（令和 2 年度）
利用者 2 名（令和元年度）
利用者 2 名（平成30年度）
利用者 2 名（平成29年度）

事業の成果指標

事業の目標値

単位

R05 年度末

R06 年度末

R07 年度末

R05 年度の到達目標（課題・改善策等）

利用者の生活状況等を把握し、福祉ニーズに適合した支給量の決定及び安定した提供体制の確保に努める。

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	2, 398	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	2, 398	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし